

# 総選挙後の政局を見通す

政治評論家  
森田実もりたみのる

- \*景気回復を求め地方に地鳴り
- \*集団自決の「野田信認」選挙
- \*蔓延する回し読み、パソコン主義
- \*第三極のうまくいかなかった訳
- \*政党助成金目当ての政党乱立
- \*怒りの代弁で熱い橋下支持
- \*排外的愛国主義を呼び起こす
- \*戦後最低の投票率での自民党政権
- \*すべての道は夏の参議院選に通ずる



浅野 開会いたします。（拍手）2012年も最後になりましたが、今日は森田実さんにおいていただきました。2カ月ほど前にお願いたしましたときには、まさか選挙の開票の週になるとは思いませんでしたが、結果的にこれ以上ないくらいの特異な選挙になりました。

それから今日も、森田さんは関西テレビで生番組に出られるのでちょっと早く1時50分ぐらいをメドに終わらせていただきます。森田さんには10回近くお願いしていますけれども、これほどいいタイミングでお願いするのは初めてなので、その意味でも楽しみにさせていたただきたいと思います。それではよろしくお願いいたします。（拍手）

森田 実  
森田 ベストのタイミングにお招きをいただき

さまざまに感謝いたします。（笑）現在の関心は、もはや参議院選挙ですね。7月21日が投票日の案として出ています。これが本場の「関ヶ原」だというところがなっています。総選挙の前は「すべての道は衆議院選挙に通ず」と言われていましたが、終わると今度は「すべての道は参議院選挙に通ず」となってきました。

この夏の参議院選挙の後には、しばらくは国政選挙が後にならないのです。これだけ衆議院で自由民主党が議席を取ってしまいますと、早期の解散・総選挙はほとんど考えられません。参議院選挙は3年ごとですから、2013年の夏の選挙の後には2016年になってしまいます。選挙の結果によっては内閣が代わりますから、国政の勢力関係を含む波乱の可能性は、まず201